



三珠中学校校長室だより
令和7年7月 9日発行
No.14
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



演劇ワークショップ

7月1日、東京都から「座・高円寺」の皆さんにお越しいただき、『演劇ワークショップ』を行いました。10月27日に予定されているPTA教育講演会では、「座・高円寺」の皆さんによる手話劇『夏の夜の夢』が上演される予定です。約4ヶ月後の本番を前に、この日は6人が来校してくださり、ワークショップを通して演劇の楽しさを伝えてくださいました。▼3時間目には1・3年生が合同でワークショップに参加し、即興の演劇作りを体験しました。



3グループに分かれ、『昨夜見た夢』をテーマに5分間の話し合いで演劇を作っていきます。『たった5分で演劇が作れるのか？』とっていると、3グループともしっかりと演劇を披露するではありませんか！その後、更に楽しいものにするためにはどうしたらよいのかをグループごとに5分間話し合い2回目の発表。どのグループも1度目の発表よりも完成度が高い劇を披露してくれました。▼続く4時間目、2年生も3グループに分かれて演劇作りを行いました。1つのグループは、『普段の行いが悪い人に天罰がくだる夢』。工夫された落ちが楽しかったです。別のグループは『次第に狭くなる不思議な部屋の夢』。部屋の主の絶妙な台詞回しや間が秀逸でした。もう1つのグループは『温泉につかった後に災難に遭う夢』。非日常的な状況を演者が可愛らしく演じる姿に心が和みました。▼2時間のワークショップを通して印象的だったのは、「座・高円寺」の皆さんの演劇愛です。今日のような即興の演劇作りを通して、同じ目的をもって協働する人の面白い所、良い所を感じることができるのが演劇の素晴らしい所だと熱く語ってくれました。演劇が人生を豊かにしてくれることをこの日の短時間のワークショップを通して教えていただいた気がします。この貴重な経験を希珠祭の演劇はもちろんの事、日常生活にも活かしていきましょう。



平和について考える

先週は平和について考える活動が2つ行われました。▼1つは7月2日(水)の3年生社会の授業で行われた『北方領土元島民による語り部講座(オンライン)』です。今回、カメラ越しにお話してくださったのは、^{えとろふ}択捉島出身、鈴木咲子さん(87)です。▼1945年8月14日、日本とアメリカとの戦争は終焉を迎え



ましたが北方領土に住む人々の戦争は終わっていませんでした。当時、小学1年生の咲子さんの家にソ連軍が土足で入ってきて、指輪などの高級品を根こそぎ持っていくこと。「若い娘はソ連軍に連れて行かれる」という噂が流れ、女性は髪を切り男性の服を着たこと。択捉島にソ連人が移り住み、3年間も同じ島で暮らしたこと。その後、日本人は択捉島を追われ樺太の収容所に入れられたことなど、咲子さんから多くの貴重なお話を聴くことができました。▼もう1つは翌日7月3日(木)の午後、2年生が県立図書館で行われていた甲府空襲展を見学に行きました。2年生は来年の4月、修学旅行で訪問する予定の広島についての学習をこれから始めることになります。広島のことを知る前に、私たちの住む山梨で80年前に実際に起きたことを知ってもらいたいと考え、甲府空襲展見学は企画されました。▼どちらの活動も他人事として捉えていては学びは期待できません。『もし当時、自分がそこで生活していて、その様な目に遭ったのなら…』という想像力を働かせると、見えてくるものは間違いなく変わるはずです。そのためには主体的に活動に臨む姿勢をもつ必要があります。平和の尊さを学ぶ機会となったこれらの活動を通して皆さんの主体性も育めたとしたら嬉しく感じます。



熱中症予防対策についてのお知らせ

蒸し暑い日が続いています。昨日、安心・安全メールでお知らせしました通り、これから希珠祭終了まで**平日の授業日においても水筒の中身としてスポーツドリンクを選んでよし**。加えて、**水筒に加えて凍らせたペットボトルを持ってきてもよし**とします。▼ここ数日、熱中症警戒アラートが発表される日が続いています。天気予報や活動予定を確認して十分な水分を用意するようにしましょう。

